

平成 28 年 9 月 16 日

株式会社 京都銀行
京都信用金庫
京都中央信用金庫
京都北都信用金庫
テクノロジーシードインキュベーション株式会社
京銀リース・キャピタル株式会社

「きょうと農林漁業成長支援ファンド」第2号投資案件について ～ 株式会社むすびのへ出資 ～

京都銀行（頭取 土井 伸宏）、京都信用金庫（理事長 増田 寿幸）、京都中央信用金庫（理事長 白波瀬 誠）、京都北都信用金庫（理事長 森屋 松吉）、株式会社農林漁業成長産業化支援機構（代表取締役社長 光増 安弘）、テクノロジーシードインキュベーション株式会社（代表取締役社長 徃西 裕之）、京銀リース・キャピタル株式会社（代表取締役会長 勝田 純一）が出資し、平成26年5月に設立した「きょうと農林漁業成長支援ファンド投資事業有限責任組合」は、第2号投資案件として「株式会社 むすびの」への出資を決定いたしました。

本ファンドでは、今後も京都エリアを中心とした6次産業化に取り組む事業者への出資のほか、京都府内の農林漁業関係団体等と連携して経営支援等の総合的なサポートを行い、地元農林漁業の成長産業化を支援してまいります。

記

1. 投資先

企業名	株式会社 むすびの
代表者	津村 元英
所在地	京都市伏見区京町1丁目（飲食・物販店舗） ※登記上の本社は「シュンビン株式会社」内
設立日	平成28年6月23日
事業内容	京都産農産物の加工・販売

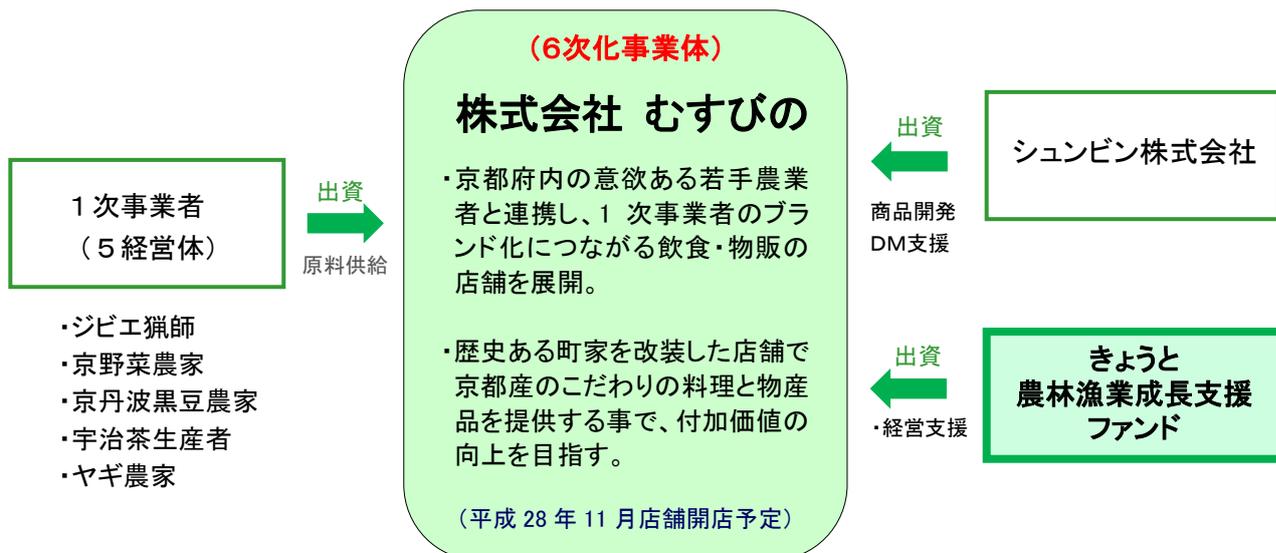
2. 投資額

150万円

3. 投資概要

- 京都府内の京野菜、米、ジビエ、宇治茶、ヤギ乳製品などを生産する1次事業者と、パッケージのデザインや瓶の製造販売、経営コンサルティングなどを手掛ける2次・3次事業者であるシュンビン株式会社（本社：京都市伏見区）が連携して設立した、6次事業体「株式会社 むすびの」に、店舗開店資金として出資を行う。
- 「株式会社 むすびの」は、築150年を超える京都・伏見の齊藤酒造当主邸宅（旧家）を飲食兼物販の店舗として活用し、京都府内で生産される様々な食材を発酵などの伝統加工技術とフレンチシェフの調理技術を取り入れた「むすびの」ブランド商品と融合させることで原材料の付加価値を向上させ、1次事業者のブランド化や地域経済の活性化に貢献していく。

<事業スキーム図>



<ご参考>

きょうと農林漁業成長支援ファンドの概要

名 称	きょうと農林漁業成長支援ファンド投資事業有限責任組合 (略称：きょうと農林漁業ファンド)
設 立 日	平成26年5月26日
ファンド総額	1,000百万円
存続期間	15年
出 資 者	株式会社 京都銀行 京都信用金庫 京都中央信用金庫 京都北都信用金庫 株式会社 農林漁業成長産業化支援機構 テクノロジーシードインキュベーション株式会社 京銀リース・キャピタル株式会社
ファンド運営	テクノロジーシードインキュベーション株式会社 京銀リース・キャピタル株式会社
投資対象	京都を中心とした農林漁業者(1次事業者)と2次、3次産業の事業者が共同で設立する6次産業化事業体

<本件に関するお問い合わせ先>

京都銀行 広報部 TEL：075-361-2292

以 上